

11月18日（月）

今朝の全校朝会では『継続は力なり』の話をしました。「何事も努力を続ければ成功につながる」ことを意味することわざです。日頃の学校生活の中で子供たちががんばっていることを紹介することも含みました。

2年生は今、『九九覚え』をがんばっています。繰り返し、繰り返し暗唱しています。3年生以上の先輩たちもみんなが通ってきた道です。2年生が『九九覚え』を毎日続けてがんばっていることを話すと頷きながら聞いている高学年の子供もいました。毎日続けることで確実に覚えることができます。

次に4年生の歌声のことを紹介しました。ミュージックデーでは「天使の歌声（変声期の少し前、3、4年生くらいの子供たちの歌声を称することがあります）」を会場に響かせてくれました。先日、校舎を見廻っていると『今月の歌、カントリーロード』が聞こえてきました。とてもきれいな歌声だったので引き寄せられるようにその教室に行ってみると、やはり4年生でした。きれいな声で歌っていることを続けてくれているのですね。

しかし、1番に伝えたかったことは毎朝ゴミ拾いをしながら登校を続けている1年生のことでした。1学期に紹介した登校時のゴミ拾いを今もずっと続けている1年生がいます。時には両手いっぱい空き缶を抱えて登校してくる日もありました。「ゴミを拾えば何かをしてもらえる。」という理由ではなく、みんなが住んでいる地域を美しくしようという気持ちだけです。それがうれしいですね。「校長先生、今日も拾ってきたよ。」正門で立っていると必ず見せてくれます。「今日も拾って来てくれたんだね。ありがとう。北山の町がきれいになったね。」と言って声を掛けます。そして、その行動も周りの友達にも広がってきています。

思ったり、考えたりしたことをその場、その時だけ行動に現すだけでなく続けることで真の力になっていきます。また、周りの人たちにもいい影響を与えていきます。北山っ子には自分に合った『続ける』を見つけてほしいと思います。

※一緒に子供たちの登校を見守っている生徒指導担当から「是非、何かの形で褒めてあげたいですね。」と相談がありました。そこで、ゴミ拾いを続けてくれている子供の代表として校長、生徒指導担当の連名で朝会の時に手作りの賞状を渡すことにしました。今朝、『すばらしい活動賞』として表彰しました。